

令和5年度 福岡県伝統的工芸品功労者等表彰受賞者一覧

【功労賞】

受賞者	受賞理由
小石原焼陶器協同組合 (やなせ しんいち) 柳瀬 眞一	45年以上に渡り、小石原焼の作陶を続け、その間、小石原焼陶器協同組合の理事を4年、副理事長を6年、理事長を6年の計16年間、組合役員として活動し、組合運営に力を注いできた。特に、後継者育成や新商品開発等の組合事業の企画に注力し、産地の発展に大きく寄与してきた。 組合活動だけでなく、個人の活動としても、コンクール等での数々の受賞歴や他団体での役員歴があり、人物面、技術面ともに社会の模範となっている。
八女福島仏壇仏具協同組合 (つる のぶゆき) 鶴 信行	30年以上に渡り、八女福島仏壇仏具の製造を続け、その間八女福島仏壇仏具協同組合の理事兼青年部部長を6年、現在は理事長として組合運営に力を注いでいる。組合理事長として、後継者育成、八女福島仏壇の認知度向上に注力し、産地の発展に大きく寄与している。 組合活動だけでなく、個人の活動としても、全国伝統的仏壇仏具組合連合会副会長をはじめとした様々な団体で役員に就任しており、組合にとどまらず、県内外で多くの信頼を集めている。

【奨励賞】

受賞者	受賞理由
小石原焼陶器協同組合 (もりやま かんじろう) 森山 寛二郎	15年に渡り、小石原焼の作陶を続け、伝統技術の継承や技術開発等で活躍。数々のコンクール等において賞を受賞するなど優れた技能を有するだけでなく、組合活動においても積極的に産地活性化に向けた企画を行い、次世代を担う若手として産地の振興に貢献している。
八女福島仏壇仏具協同組合 (まつなが しげよし) 松永 茂秀	35年以上に渡り、八女福島仏壇仏具の製造に従事。特に、実演を通しての伝統的技術、技法の承継及び向上並びに後継者育成、八女福島仏壇の認知度向上に力を入れて活動し、産地存続に大きく貢献している。組合理事としても、組合運営の正常化に務め、組合の活性化に寄与している。